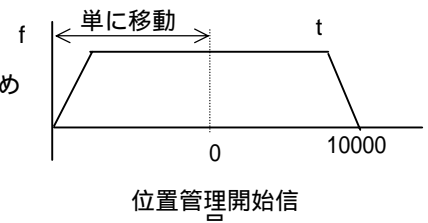


## PCS (位置決め管理開始信号入力) 動作

RMD (動作モード) レジスタのPCS有効(bit14) = ' 1 ' に設定することにより、動作スタート後、PCS入力信号がONのタイミング、またはコマンド(28h)書込みでRMVレジスタに設定した移動量分の位置決め動作を行う事ができます。動作方向はRMVに設定された値の符号で決定されます。

### 【ドライバ関数による記述例】

以下の例では、すでにレジスタ及びオプションポートの初期化、及びPCS入力有効、PCS入力極性設定されているものとします。  
以下の例では動作スタート後、X軸のPCS信号入力の時点から位置決めします。



```
DWORD ret; //関数の戻り値
DWORD hDevID; //デバイスハンドル
```

```
// X軸移動量設定(移動量 10000 : PCS 入力 ON からの相対移動量)
ret = cp530_wReg( hDevID, 0, 0x80, 10000 ); // X軸 移動量(PRMV) = 10000
```

```
// X軸動作モード設定(PCS 位置決め動作)
ret = cp530_wReg( hDevID, 0, 0x87, 0x4041 ); // X軸 動作モード(PRMD) = PCS 位置決め動作
```

```
//スタートコマンド発行
ret = cp530_wCmdW( hDevID, 0, 0x53 ); // X軸 高速スタート
```